第70号 1909. 3. 30.

（一） 第七十號 （火曜日） 明治四十二年三月三十日 （日曜及祭日の翌日休刊） （日刊） 明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●東朝鮮の漁業（下）

「方魚津方面の繁昌」

方魚津は蔚山灣の北角ど蔚崎燈竿との間にある一小港灣にして韓人家僅に四十五戸に過ぎざる一寒村なれども鯨漁場の中心點に當り且つ沿岸根據地中最も沖合に位置して漁場への往來便なるが故に漁季中始終漁船の繫留するもの多く二三年前までは九龍浦甘浦、太邊浦等の如く寂寥たる漁村に過ぎざりしも前記運搬機關の進歩と蔚山灣の發展に伴ひ今季忽ち在留邦人の戸數五十四戸人口百六七十人に達する一大漁村を現出せり、此地外來の邦人は春夏より秋冬にかけ裸潛業者、鰮詰製造業者、煮干鰯製造業者、雜貨商、鯛延繩業者、鯖流網業者、鯨曳網業者、飲食店營業者及び呉服商、其他床屋湯屋、雜業者等にして就中今季繁榮の中心となりしは飲食店營業者にして約三十戸あり内單に飲食物を供するものは僅に七八戸にして其の他は專ら醜業婦を置き漁夫の懷中を絞るを目的とし此韓醜業婦の數百〇五名に達せり昨年十一月中旬よりの收得高一戸一千二三百圓乃至二千圓に及び昨今までの總額五萬圓を下らざるべしと云ふ而して彼等は本月下旬今季の終漁と共に何れも釜山絶影島に引揚げ春漁期を俟ちて更らに羅老島或は秋子島方面の南韓漁場に出没し終年鯨流網漁業者の懷中を狙ふ害生虫なり右の浮動的營業者以外の雜業者中稍や健全なる永住計となすものは雜貨商五戸あり漁期中一ケ月の賣揚高三千圓を最高とし一千圓乃至一千五百圓を普通とせり錫屋は四戸ありて何れも一夜二圓五十錢乃至三圓の收入あり男女床屋六人雜業者十戸許りにして今季各飲食店及各漁船より他の營業者に落ちたる總金額は約三四萬圓に達し昨年漁期中漁船より陸上に吸收したる金額は約三萬圓なりしが本年は之れに倍加して約六萬圓に上りたりと云ふ

「漁業者風俗の類變」

秋冬の兩季方魚津に集合する漁業者は主に香川、岡山兩縣の鯨流網の漁夫にして其數約一千人に達し二十年來韓漁通漁を專業として漁場の掛引は容易に新來者の企及する所にあらず隨つて從業者の權利は自ら發達し船内の組織は總て個人本位となれり近來運搬機關の發達ど魚類需用の增進とは年一年魚價を昂進して三四年前に比して數倍に騰り一方漁場は又年々擴張せられ漁期は次第に延長せられつゝあるを以て漁夫の收入は自然增進しつゝあると共に金錢の順調なるに連れ只さへ墮落し易き彼等間に誘惑機關は備はり釜山よりは賭博を本業とする不良の徒入込みて盛んに賭博と奬めたれば溺々として之に耽り業を怠り或は酒色に沈溺し果ては生命をもなすべき漁船に乘組む具を與するに至るもの尠しとせず本年は蔚山警察署の取締嚴重を極め陸上に屢々大檢舉あり居留民は互に自戒して盛なる賭博を見るに至らず醜業婦には一週一回の健康診斷を勵行したれば或程度まで害毒傳染を減じたるやと雖も水上警察の施設なきを以て漁船内の小賭博母船内の大賭博は依然公開せられ漁業者間の弊害は毫も減退せず本年賭博のために漁船を失ひたるもの三艘ありといふ（完）

貰いたいこと

於龍山 露城生

●車

余は一日京城に遊ぶべく自宅を出た、久振りに例の汚ない電車に乘つた、昨冬から本春にかけて、線路の高低や其屈曲を直した勢いか、又た自分の運が好かつたのか知らんが、兎に角く電車の進行が頗る速くなり、変更點に於ける待合せも今迄よりは速くなつて、殆んどないと云ふても好いことは事實である、元町なる本願寺の前から南大門驛前まで十七八分だつた、これなら本願寺の前から南大門驛前まで十七八分だつた、これなら本願寺の前から南大門驛前まで十七八分だつた、これなら

▲美術半衿帶上衣他紐類各種　京城新町一丁目　ふり德商店

第70号　1909. 3. 30.

京城新報

結婚論

婚姻祝々に就き

希伯來人は人世の創始を歌ふて曰く、人祖アダムがエデンの花園に憩かるゝや、園には百花爛熳として咲き亂れ、百千鳥は美聲を放て囀づり、美味なる果實は累々として熟し、前には潺々たるユウフラテの清き流れあり、アダムは此清く麗はしき眺望の中に於て美味に飽けり、アダムの快樂や到底言語に現はし得ざるものならんと思ふに、何ぞ圖らんアダムは斯る樂園に遊遙するも暫快として樂まず、常に孤獨寂寞の情に堪へざるもの〻如し、茲に於て神はアダムの心事を察してエバなる異性を與へたり、アダムは茲に始て慰安と快樂とを得て喜べりと之れ希伯來詩人が夫婦の創始及其情交を歌いたるものなり、一夫一婦は眞に人倫の要素なり、總ての人事は此要素より起り來るなり、恰好の伉麗相親みて一躰となる、人生の意義始めて茲に鮮明となるなり、然る処現代の結婚なるものは此神聖なる意義を沒却して不倫に陷入るもの少からざるは寒心の至りに堪へず、既に結婚なるものが人倫の要素なりとせば之を重せざるに於ては總ての人事に破亂を起すは當然なりとす此源にして清からざれば政治も經濟も文學も圓滿に行はるゝ筈なし、一國の富と云ひ貧と云ふも、畢竟此夫婦なるものが勢役したる所の著積なり、之を以て夫婦の人倫にして破壞するに於て人世の進歩を害すること甚だし、識者は大に思を茲に馳せざるべからず、

而して日本の現狀を見るに甚だ悲ひべき現象あり、或者は云ふ、日本は今や過渡の時代にして結婚の亂態は免るべからず、舊時代の厭制的結婚將さに廢れんとし一方に於ては其反動として極端なる自由結婚起り來るも、之れ暫らくのみ漸次に好き調和を得べしと、思ふに此說は甚だ樂觀に過ぐ、現時の日本の如く社會の制裁が鈍弱なるに於ては此儘に放棄し置きては好き調和は得られざるなり、見よ社會的制裁の薄弱なると結婚を重せざる結果は悲痛極まる離婚問題の頻々として起るにあらずや、嘗ては大隈英麿氏の如き、建部博士の如き、近くは福田博士の如き、音樂師藤井某の如き者之れ結婚を重せざる結果より來れるなり、此等は世に顯はれたる一部にして其世に顯はれざるもの頗る多く歐米人等は夙に驚嘆せるに非ずや、今此等世に顯はれたる離婚問題を見るに夫婦の間は睦ましきも、親たるものが或る事情の爲に其間を斷つ等の如きものの少しとせず、所謂生木を割くものなり、或者の如きは結婚の當時夫たるものが遠隔の地に行かざるを條件としたる爲めに或る事情により遠隔の地に行かざる可らざる必要あるも行くこと能はず、强て此必要を充たさんとすれば其妻を離縁せざる可らず、現に藤井某の如きは之が爲に其親が斷乎として離縁して引取りたり、元來斯く其親たるものが不條理の行爲をなすも暴竟結婚に於ける親權の强大なるが爲なり、素より親の許さゞる自由結婚は弊害多しと雖も、親權過大にして万事親に依りて決するが如きは甚だ非なり、吾日本の如きも殖民地の增加すると共に人口の移動及び經濟的組織の變化し來る今日に於て夫が遠隔の地に行くが爲めに夫婦間の破鏡を見るが如きは斷じて革めざる可らず、斯る事情の爲めに國勢の發展を害すること甚だ遺憾なり、アングロサキソン族が世界を家として何れの處にも情を家庭を造りて緩々として成効せる氣宇に屬て大に瞰づべき也、斯の如き識想を矯正して世界を家とするの氣宇を發成して吾國勢の發展を計らざる可らず、之を要するに人倫の要素たる結婚をして眞に伉儷相親しむるに至らしめざる可らず、此泉源に清く且つ堅確なるに至て始て一國の元氣は振ひ殖民事業旺盛となるべき也、

東京電報

▲通信官制の改正

統監府通信管理局官制改正の件本日裁可公布さる（廿七日發）

▲越谷鴨場の開場

埼玉縣越谷鴨場開場式は皇太子殿下御臨席あり同地の歓迎盛んなり（廿八日發）

▲外債不成立の理由

佛國に於ける我外債の成立せざりし所以は巴里に我財務官の駐在無く意思の疏通せざりしためなり（廿九日發）

外報一束

▲清國公使の演說

駐米清國公使伍廷芳氏は昨日平和協會にいて一場の演說をなしたるが公衆一般に清國事情には大なる興味を有せる時節なるを以て頗る注意を惹きたり氏は清國の軍備擴張は同國が目下萬一の變に對して國境を防護するの必要に迫れ居るを以て實に止むを得ざるものなりと說き世人の幸に之を非難せざらん事を求めたり氏は又聽衆に向て斷言して曰く清國の目的は全く自立自衛を全うせんとするにありて陸軍の增加も決して攻撃的の意味を有する事なしされば清國民は最も兼て西列强との親交を希望し國內に於ける外國貿易の發展を歓迎するものなりと伍氏の演說は非常に雄辯にして聽衆に深き感動を與へたり

▲東歐形勢成行

墺地利が列國の調停を拒絶したりとの報道は目下の所未だ確められず▲露國外相イズヴォルスキー氏は露國皇帝の直接命令に從ひ或點に就き露歩せり▲墺地利ルーメアニ兩國間に締結せられたる軍事協約はセルヴィアに對して有効なり▲サンジャック州に關する防禦同盟協同運動を取る爲め墺地利土耳其兩國は近日中に協約を締結せんとす

▲波斯王國の亂狀

波斯の國民黨は同國プシールに自ら政府を樹立して官吏の罷免を行へり又タブリッヅ地方に於て波斯の騷亂は弊害あり之を聞き前哨地に於て激烈なる戰鬪あり國民黨は多大の損害を受けたりと

▲波斯騷亂と英露

英國外相グレー氏は下院に於て波斯の騷亂が露國の干渉せる結果なりといへる所說を辨駁し英國より派遣せられたる英人が露國政改善に援助を與ふるに至らざりし間は波斯政府は實に宇內最惡政府の一なりと公言せり

▲加奈陀戰艦寄附

ニュージーランド

紳士錄出版の趣意

韓半島の社會的狀態は今尙は混沌たり、社會の舊組織破壞せられて新組織將さに成らんとするの時代なり、所謂破壞と建設との過渡時代なり、故に半島國民も在留外國人も皆此渦中を脫する能はず、從て各個人の信用程度を判別すること容易ならず、之が爲に總ての取引に於て圓滑を缺く例決して乏しからず、弊社は茲に見る所ありて紳士錄の編纂を企てたり、然るに韓半島全部に亘りて之を調査するには多くの日子を要するを以て當面の急需に應する能はず、茲に於て先づ京城龍山に在住せらるゝ日韓清英米佛獨其他の紳士全体を擧げ豫約方法によりて出版し以て世の急需に應ぜんとす、思ふに京城龍山は目下半島の中心なり、此中心の地に在つて經營の重任に當らるゝ紳士を最初に紹介するは將さに當を得たるものなりと信ず、而して掲載する紳士の部類は政治家軍人官公吏商業家工業家農業家醫師辯護士教育家宗教家新聞記者銀行會社教會寺院倶樂部組合等にして社會の各階級を網羅して漏す所なし、之を以て本書は公私の實務に軌掌せらるゝ諸君には欠く可らざる要書なりと信ず、庶幾くは續々豫約御申込みあらん事を切望す、

明治四十二年三月

京城新報社

雜報

●露國上院議員の來京

既報の如く露國上院議員グレズメル氏は去る廿七日午前十一時韓國工業傳習所を參觀し和田所長の案內にて教場各工場標本室及寄宿舍等を詳細に一覽し何れも深き趣旨を以て觀察に終つて別室に於て茶菓の饗應を受け殖産の學務の成績を唱揚し且つ其の懇切を感謝せり而して氏は午後景福宮を拜觀し廿八日午前京城出發釜山に一泊し二十九日午前乘船日本に向ふ等なるが氏は露國の富豪にて多年工業に從事せし人なるが尙日本にては約半年間滯在すべしと云ふ

●伊藤統監大磯に歸る

伊藤統監は昨日午前十時在清國米國公使館二等書記官リンドハリソン氏外東拓社員重役一同を帶同し韓皇に謁見せられたり

●曾禰副統監帶同謁見

曾禰副統監は昨日午前十時在清國米國公使館二等書記官リンドハリソン氏外東拓社員重役一同を帶同し韓皇に謁見せられたり

●杜選なる調査

（所謂驛屯土取極眞相）

京城通信所報に依れば東洋拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の眞相は世間の風評區々にして其の眞相は容易に之れを知り得ざる事なるが最初驛屯土を拓殖會社に引渡すべく其筋にて調査したる根源は三斗落を一反とし一斗落に付き籾米八斗、一反歩に付二石四斗を得る計算にして玄米は四歩止りとすれば九斗六升なるが之れより得べき純收益は籾米八斗と爲し先日報導せる籾米相場一圓五十錢乃至三圓五六十錢の間を取りて一石二圓五十錢の相場とすれば其金高は二圓にして還元率の一七五を乘ずれば一反歩三十五圓なりとす而して畑と田地の價格に對し三分一の價あるものとして會社に提供したるに會社も是を至當なりとして約束したるものゝ由にて其當時の相場よりすれば更に間然する處なかりしものなるも今日の米價は確かに四割方を下落し居るとの事は黑人筋の證言なれば之れを間違なきものとすれば即ち拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の價額は目下の場合四割方即ち約百一十萬圓を減じ皆る次第にして遺は米相場の變動より生じて起りたる現象なるが相場の變動は人力を以て如何ともする事能はず後日或は米價の騰貴するときは即ち拓殖會社が利益する時なるべし、某當局者は語れり

●善隣商校夜學卒業式

善隣商業學校にては昨廿八日午後十時より夜學專修科第一回卒業證書授與式を擧行したるが多數の來賓あり卒業生は何れも會間統監府各部會社銀行等に勤務せる日本人廿一名にして校長祭式の旨を告げ勅語を奉讀し卒業證書優等賞品精勤證書並に賞品の授與をなしたる後一場の告辭をなし次で來賓の祝辭ありたる後一場の告辭をなし次で來賓は調査の結果二月より本月に至る一箇月間に於て實に二百名の增加を爲したりと云ふ

●民團の會計檢査

仁川民團會計檢査は本日午後一時より同民團に於いて齊木、加藤、稻田の三會計檢査員臨場擧行する筈也

●菅田書記官出張

臨時財產整理局債務課長たる度支部書記官菅田勇氏は三殖法實施狀況視察として本日平壤へ出張せり

●治平安民會組織

前郡守李會夏外數名の者治平安民の目的にて親睦保險會なるものを組織せんとて目下頻に運動中なりと

●一進會の演說會

一進會は四月四日西大門外獨立館に政談演說會を開催の由

●三宅事務官出張

農商工部三宅事務官は度量衡器販路調査の爲黃海道へ出張の筈

●白寅基氏の出張

韓一銀行專務取締役白寅基氏は二週間の豫定を以て全州へ出張

●漁業出願の心得

四月一日より施行さるゝ韓國漁業法に依る出願者の心得べき要項左の如し

（一）日本人と差出す漁業願其の他の書類は漁場區域を管轄する理事官を經由すること

（二）韓國人共同出願の場合に於ては願書は其代表者の屬する國の官廳を經由せしむること

（三）漁場が二以上の管轄區域に涉るときは願書其他の書類は其の漁場の大部分を占むる區域を管轄する理事官又は地方長官を經由すること

（四）委托許可漁業の出願ある場合に於て漁場が二以上の管轄區域に涉るときは其の漁場の大部分を占むる區域を管轄する理事官又は地方長官に於て許可の處分をなし處分後他の關係ある理事官又は地方長官に通知すること

●天氣豫報（自廿九日午後六時至三十日午後六時）

最高溫度　最低溫度（華氏）

廿八日　四七、三三

▲御渡韓紀念章 渡韓紀念章賜金に付勅令にて發布せらる

▲救恤法規發布 恤取扱

雜報

●東拓上役の分取主義

▲不公平なる配給▲

▲可憐なる万骨▲

東洋拓殖會社の事業たる素より營利的事業には違ひない營利的事業であるから利益を得るまでは**薄給**に甘んせよと言ふのも聽なへた話であるが夫れならば夫れのやうに家長だとて矢張り雇人と同樣に多くを食らすして**不自由**を忍ぶのが至當ではあるまいか然るに**課長**の如きは**四十圓**内外の下宿住居をなしながら尚ほかつ**七十圓**の舍宅料を受け居るにも拘らず下給者たる書記雇員等に於ては下宿の**間代**の**三分の一**にも充たざる配給を受けて僅かに汚なき會社の一隅の冷めたき▲**空板間**に雑魚寝しつゝありと云ふに到つては何んぼう憐れの次第ではないか彼等の中には相當の收入ある職を**擲**して東拓に入つたものもある然かも彼等の多くは決して今日の如き**悲慘**たる**境遇**を豫想してゐたのではない唯だ社會の人氣をあつめた東拓が如何に有望なるかを**夢想**しつゝ別に給與例等の**指示**をも受くる事なく**茫然**として起つたのである然るに入社後數日にして漸く交付せられた彼等の**辭令**はどうであるか、彼等は等しく其の餘りに薄給なるを**驚**くと共に將來を思ふては▲**勘からぬ不安**の念を生じたのである▲憐れむべき萬骨よ汝等の肉枯れ力盡るの時は即ち一將功成るの日なるかを思へば我輩は悄然として同情の念に堪へぬ。

●饂飩屋の主婦(一)

▲老いて益々旺なり

▲孫のやうないろ男

理髪廳前の通りを真直ぐに長谷川町の交番所に向けて進むと通りの出端に右角に當つて酒さかな饂飩うどと記した角行燈の影淋しき一軒の饂飩屋がある。**一階家**と云つてもバラック建ての極めて粗末な家ではあるが**毎夜十一時**から**先**きさになると**千客萬來**の大繁盛を極めて一晩の收入が時には**十何圓**といふ小店としては**不相應**な額に上ぼる事があると聞いては聊か不思議のやうにも感せらるゝが底には蓋もあれば實もある話で或る物好きの某氏が内探せし處によれば元来**同家の主人**と云ふのは最早や**五十**の坂も二三年前に越したといふやうな**媼**さんであるが此の媼さんなかゝの**好色者**とて二三年前御亭主に捨てられてからといふものは、宛然檻を放れた**ヒヽ同樣**に誰れ彼れの容赦はない**男**でさへあれば摘まみ喰ひをやらかしたいばつかりに何處でコマした資本ぢややら何時からとも覺ねぬが遂々饂飩屋を開業した(つゞく)

●酒井政平召喚

●京都裁判所へ

先般來病氣療養を名として京都に滞在し自家の破綻を知らざるもの丶如く豪遊に憂身を窶しつゝありたる酒井政平は或事件に因り京都裁判所へ召喚され取調を受けたりと事なるが同人の申立樣によりては當地の人々に少からざる迷惑を掛くることとなるべしと云ふ。

●韓人夫の壓死

▲一名は即死一名は重傷▲

仁川花町二丁目理築土砂採取場に於いて數名の韓人夫作業し居たる所昨日午前十時頃前面の土砂崩壊し來り二名の韓人夫は無惨にも其の下敷となり一名は即死を遂げ一名は重傷を負ひたり

●暴徒一二圓を強奪

前判番洪

淳馨は過日來京畿道揚州郡德治鄉宅に宿泊中數十名の暴徒來襲して洪の所持せる金貨二千圓を强奪し剩へ暴行を加へ兼ね間敷き有樣なるを以て京城に避難したりと

●飛んだ寃罪

瓜田に履を入れず

李

京城明治町二丁目百〇三番地福井清七(三)は一昨二十八日午後三時頃駱洞統戸未詳韓妓星峯英根方に娼妓を案見して其儘立ち歸らんとせしに意外にも同家の主人峯英根は突然福川を捉らへて溫突の戸を破損したるは汝なるべしと食つて掛り結局警察署に同行して其筋の裁許を仰ぎしが右溫突の戸を破損したる以福川にあらずして當日多數の案見客ありて中に多數の兵士交り居たれば或ひは兵士の仕業ならんかと判りて事濟みとは馬鹿々々しき一幕の饂飩屋がある。

●醉餘の亂暴

花園町四十七番地建具製造業梶岡熊藏が一昨二十八日午後五時三十分龍山板倉町加藤某方に送るべき西洋戸棚一個を擔軍に負はせて明治町藤田合名會社前の路傍に休息し居りしを折柄通り掛りの伊藤組車夫越知常一(三)同時吉才藏同小林七郎兩地組車夫西村彌四郎の四人が酒醉に乘じて該戸棚を足にて轉倒せしめ破壞したりとて双方喧嘩を惹起したり結局西村外三名の加害者より修繕料二圓を支拂して事濟みとなれり

●暴徒巡査を拉去す

全南順天署

の韓人巡査は去る二十日奥陽郡に於て暴徒の包圍を受け遂ひに何處へか拉去せられたる由は既報の如くなるが今又幾尚南道晋州巡査駐在所仕勤韓人巡査某は去る二十五日三嘉に於て暴徒の爲めに拉去せられたりと

●脱監囚徒の護送

仁川警察署坂下

今井石川の三刑事が本月八日の夜仁川海岸に於て捕縛したる釜山監獄脱監囚徒にして京仁に於て窃盗を働きたる岸本松藏(三)は昨日午前今井石川の兩刑事に護せられ釜山警察署に送られたり。

●蝎甫買ひの失敗

瘤島縣人當時京城日の出町百二十四番地無職北郷松四郎(三十)といふは一昨日午前一時頃駱洞日統一戸李德根方へ蝎甫買ひに赴き謀宅後財布の紛失せるに驚き再び同人宅に押し掛け主人に面會して自分の歸宅したる後其部屋に財布の落ちゐたりしや否やを詰問したるに李德根は女等と共に口を揃へて決して那麼物は落ちゐたりざりし由を答へたれば北郷に大ひに怒りて突然李德根の面部を殴打して負傷せしめ其儘其筋へ引張られたるが將來を戒せられし放逐せらる

●旭町の迷子　旭町一丁目川島方屋八梶原ともる者は一昨日午後三時頃四才位ひの女の兒の路頭に迷ひ居るを發見其筋に同行したるが同女兒は明治町一丁目栗田清太郎長女さつね(二)當時南大門外御成町馬車挽外野竹次郎が頗り居る者と判り召喚の上引渡す

●仁川のボヤ二件

一昨二十八日午前十二時頃仁川内洞張在暢方の溫突の煙突より出火し將に一大事に至らんとせしも漸やくして消し止め又昨日午前九時頃地番洞金週學方の煙突より發火し家屋裏に燃え移らんとせしも幸に大事に至らしめず消し止む

●韓國問題　韓國の新著

兒島高等院議員

大内錫三氏は今回「二十五年會に於ける韓國問題」として一書を著はし目下上梓中の由なるが同書は(一)韓國政務に關する私見(二)居留民團法中改正法律案(三)韓國横貫鐵道敷設に關する建議案(四)海外輸入米課稅問題(五)韓國經營に干する質問等を採錄したるものにて苟くも意を韓國問題に用ふるの士は一書を購ふて机上にするの必要あるべく代價は一部金六十錢郵稅金六錢にして申込所は東京京橋區鎗屋町八番地工友社

●朝鮮種子の分與

紀伊國北牟婁郡錦村櫻井隨花園に於ては例年の如く自家栽培の朝顔種數百種中より左の十種(十袋)を撰擇して分與すべしと云へば愛學の諸君は郵券十八錢を添へ申込まるべし

種類(一)百千鳥(二)地球の圖(三)玉の浦(四)浪花潟五(五)黑龍(六)羽衣(十)さゝれ石(七)丹頂鶴(八)天の橋立(九)羽衣(十)さゝれ石

●朝鮮日々新聞社に於ては來る四月三日の神武天皇祭を期し京城龍山各商店員の慰勞會を兼ね東大門外訓練院の廣場に於いて自轉車及徒歩の大競爭會を催ふす由時候拘定めて盛況を呈すべし

●大競爭會

●演藝

●座本日の藝題は村井玄齋作「深山の美人」にして一座の最も特意とする劇なる由場割及重なる役割は左の如し

場割(一)丹澤山中(二)同奥山登の助(五)園子坂

(三)八王子旅舍(四)小間物屋下女(日東)

役割　輕井口雄(西)　モグリ龜(稻葉)　美人綾羽(池田)　上田(今野)　小才治(三輪)

●韓語獨習

韓語

チョーソンスイヨン　居

ホーランキカー、イツツ

ハムキ、タドーヨン、マーニツツ

サースミー、イツツ

ニエー、イツツ

ソーワー、マーリー、ウツトムニツカ

ソーヨン、イクコマ

ルン、ハビルト、オプソ

▲ひら君に出ていたいて誠に恐縮です外からぬ貴兄のれ言葉如何にも承知致しました平民文庫の事件に敢ては沈默致します併せてむら君の御配慮を感謝致します

●早速の御承諾(ぎの字)

●小粹士樣早速桃山遊廓の樣名を知らせくだされ有り難く拝に御禮申上ます

●追々氣候も好なつて(ぎの字)

●文庫記者さんの本欄投書家の懇親を計る爲め何處か一堂に相會して小宴を張り以て一日の清遊を試みようとの本欄投書家の氏名を一々知悉して丸(うろ字)

●菊水のさだ江さん先夜は蟠龍樓の板場クンと相乘車で西小門通りへ來ましたから一つ本欄投書家の氏名を一々知悉して丸(うろ字)

●菊水のさだ江さんは

▲無料紹介欄▼

大半部

求職 英語語法及簿記に熟達す 官社官廳事務に經驗あり身元確實 新橋通一の一沖方・伊藤勝治

裁縫・刺繍・編物・造花・摘紅工等御望みに應じ教授申候 大和町二丁目百六番地 技藝女塾（一九九）

山口縣人懇川常之進氏の消息を知りたし 御承知の方は當欄迄御通知遊ばされ度願 姓名在社（二〇二）

下女入用 身体壮健なる者月俸金拾圓迄を給與す 姓名在社（二〇五）

店員入用 商業に經驗有る者履物業に從事したる人なれば採用し 本町五丁目井上履物店（二〇六）

物件部

呼よき電話讓渡 たし 社内中村

貸地 旭町一丁目見晴よき地四十坪あり 京城清國領事館通 清韓洋行

電話讓受けたし 本町一丁目 小川勝平事務所

電話讓渡したし 本町一丁目 小川勝平事務所

工事用水揚ポンプ一臺 賣渡し及貸し付けたし 長谷川町一丁目矢橋商店（二〇〇）

本年六七月頃近方にて毎夜二時間位英語を教授なさる方なしや 姓名在社（二〇三）

大阪朝日又は東京朝日新聞昨年の小說三四郎九の二〇〇 持者は讓與願いたし 大和町二の三八 三室（二〇四）

廣告

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御撮の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候 壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）

懇切下宿 かめ屋

公債貯蓄勸業 債券讓受 御不用の御方は各號共精々高價申受 くべく候 京城長谷川町二丁目當田屋内電七二二 賣

大阪府堺市 醇良 澤龜 清酒 宅舍拓會社釀

裁縫專門教授 明治町三丁目百三十一番戸に裁縫專門教授の家塾を來る四月一日より相開き候に付ては懇切丁寧に御教授申上べく入門御希望の方は當方に付御尋ね被下度塾則及び教授料等御高覽に供し候 京城明治町二丁目百卅一番戸 裁縫專門 和洋料理 教授 野村さわ子

辯護士 岩田仙宗 明治町貳丁目七十五番戸 電話三五四番

諸傘並に提灯類印入 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 大島商店

九州セメント 今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候 京城南山町一丁目電話三四番 山村商店 麓山元町二丁目電話三二二番 林藥店

測量製圖器械文房具販賣店 平壤南門通二丁目（長電話三四一番） 篠崎牛助支店

本店に於て發賣する測量製圖器械は韓國人使用器械の元祖にして尤も韓人に適するものなれば小賣部命望い方は特別の御相談に應ずべく尚御一報次第御賣價格表御送附可申候

京城本町一丁目郵便本局前（長電話四六八番） 篠崎牛助本店

無煙炭 特色 用途 火付濟く火力耐久價格低廉 漁鑵、暖爐、竈用に適す 周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場 京城竹約店 京城清國領事館通 電話六〇三番 巴商會 韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

春季大賣出 來る四月一日より五日間寄裂及び見切反物をも澤山取揃る御覽に入れ候間何卒不拘多少御用命被成下候樣伏而奉願上候 三月 京城本町二丁目 電話三五二二番 三越呉服店

石炭直輸入卸小賣 ●精撰塊炭 ●上等塊炭（海軍御用炭）●荒塊炭 ●切込炭（鐵道御用炭）弊店の石炭は自已炭鑛よりの直輸入なると以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候 目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候 赤阪口福母炭坑賣炭部 韓國京城南大門西側 合名會社範多商會韓國代理店 大阪鐵工所韓國代理店 合資會社長醫商會韓國出張所 電話長（八二九番）

萬命大 特約販賣自製 濱味噌 醬油 物製造元 京城本町五丁目 **大上商店**（電話二五一番） 和洋酒、同精酢、穀物、麵類、麦茶、鑛泉、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糠、塩辛各種特約販賣 尚御望に依り商品切手讃進仕候

大見切賣 金口卷莨各種 エヂプト卷莨 弊店儀營業上の都合に依り來る一二十五日より三月三十一日迄（卅五日間）現在品悉皆各國産煙草大見切安直を以て（但し現金）御高需に應し候間此際陸續御用命の程奉願候 二月二日 各位 本町一丁目 トルコ煙草商 日希商會 G.J.C.

官營無煙炭大々的直下 一噸（十二俵）九圓九十錢 一噸（十二俵）八圓五十錢 但弊店渡し 但弊店渡し

一塊炭 一切込炭 御屆けすれば持込賣賣及び叺代又は叺俵料申受け候 其筋の御指定に依り右の通り直下げ致し尚ほ區内各所に申込所設置仕候間便宜の場所へ御申込被下度自然前記價格より高價の申出てを爲す者あるも指定價格通り御仕拂可被下候也 平壤官營無煙炭特許一手販賣人 南大門外古市町青柳道 苦米地造酒彌

小食堂開始 ◎輕便にして佳味なり◎ ◎洋室日本室の設備あり◎ 入口は京城ホテル裏通りにあり 元日本人倶樂部 京城ホテル小食堂 長電話一二三番

京城曙町（電話六八四番） 綾織府廳用 宮内府御用 軸物 金襴表具 額面 襖張 壁張 天井張 福川表具店

西洋料理 東京高輪壽し 會席料理 丼類いろ〳〵 折詰辨當 同 サンドーウヰッチ 南大門停車場構内 エーテー淵田 電話六八七番

大阪日報 京城佛領事館通 大成社 讀み玉へ最廉價なる 一ヶ月 廿錢

銘茶 京城三六番

日本郵船會社 仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番 **汽船仁出帆廣告** 貨物及船客取扱店 電話十四番

●大連行（船客御廳）新潟丸 月 日正午時出 ●釜山直航門司神戸行 山東丸 四月 十一日後三時出 ●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月 廿二日正午時出 ●大連、大沽、牛莊行 由良丸 三月 三十日前五時出 ●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月 八日正午出 ●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月 七日午後 御乘船ノ際ハ稅關渡船場ヨリ本船ニテ御送迎ス可申候 注意 船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金壹錢▲一ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲二回四十五錢▲三回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢 ●廣告料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲二回四十五錢▲三回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢 ●廣告料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲二回四十五錢▲三回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢

發行所 京城新道 電話六三 印刷人 高木久馬 發行兼編輯人 秋山忠三郎